

令和6年12月

みずほだい通信 第8号

瑞穂台小学校 谷 黒 潤



全市一斉土曜授業 ～子供たちの主体性を育む～

12月7日（土）に開催しました全市一斉土曜授業では、たくさんの保護者の皆様や地域の皆様に来校していただき、ありがとうございました。今年は、少人数の縦割り班で行う「なかよし端穂野オリエンテーリング」を参観していただきました。

この行事には、“子供たちの主体性を育む”という目的があります。ゲームの企画・準備・当日の運営全てを、班長の6年生を中心に子供たちが行いました。班ごとに担当の教員はついていますが、子供たちを補佐することが主な役割です。当日、全ての児童が自分の役割を自覚し自ら考えながら活動する姿を、皆様も見取ることができたのではないのでしょうか。数か月前から時間をかけて計画してきた成果が、十分に表れたと感じてます。



避難訓練 ～自分で考えて避難する～

12月10日（火）に避難訓練を行いました。今回は、“休み時間に校庭の南門から不審者が侵入してきた”という想定です。子供たちは、校庭から校舎内へ、これまでの訓練とは逆方向に逃げることになります。

これまでとは違う想定での訓練でしたが、不審者役の南警察署員の方に教職員が対峙している状況を見て、避難を促す放送が入る前に、子供たちは自ら判断して避難することができていました。また、不審者に声を掛けられたときの対処法を、実演を交えながら学ぶこともできました。

これからも、様々な場面を想定した訓練を行うことなどにより、子供たちの安全を守っていききたいと思います。

